

未来のまちを豊かにする 地域づくり

YAMANASHI

人間が安全で文化的な生活を送るために
必要な社会基盤や建築物を整備し、
人間が自然との協調と共生の中での生活を
実現するためのステージで活躍する！



未来のまちを豊かにする 地域づくり

YAMANASHI

山梨県建設産業担い手確保・育成産学官連携会議
(山梨県県土整備部)



introduction

理工学部等の建築系学科・土木系学科や工業系の専門学校などで、**インフラ整備、プランニング**、自然との**調和**を探求し、私たちの身近にある社会基盤及び建築物を整備・維持管理する分野やその関連分野へ！



インフラ整備

くらしを支える道路や鉄道・橋・ダム・堤防・上下水道・電力等の社会基盤やマンションなどの住宅・学校・図書館・病院・オフィスビル・工場・ショッピングモール等の建築物といった構造物の探求

プランニング

調査にもとづくまちの未来の姿のプランニング(企画や計画の立案)やデザインなどの探求

自然との調和

防災・減災・国土強靱化そして環境再生のための探求

※人々が安全・安心に使える社会基盤や建築物を整備・維持管理するためには自然と人との共生を考える必要があります、その必要性がなくなることはありません。



理工学部等の建築系学科・土木系学科、工業系の専門学校などへの
進学からつながる**3つ**のしごと



1
街を描き、守る仕事(プランニング)

発注者/公務員、鉄道などの民間事業者

2
特定分野のプロフェッショナルな仕事

測量・設計者/建設コンサルタント、測量・設計業者など

3
構築物をかたちにする仕事

施工者/ゼネコン(総合建設業者)など

▶ 主な就職先

分野	プランニング	測量・設計	施工
公務員(技術職)	企画・計画		
ゼネコン等建設業者		設計	建設工事
ハウスメーカー	企画・計画	設計	建築工事
建設コンサルタント※1	企画・計画	設計・調査	
設計事務所(建築設計)	企画・計画	設計	
測量・設計	企画・計画	測量・設計	
地質調査		調査	
デベロッパー※2	企画・計画	設計	
空間プロデュース・ディスプレイ※2	企画・計画	設計	製作・施工
鉄道、高速道路	企画・計画	設計	
電力・ガス、通信	企画・計画	設計	
教員(公務員)・研究者	人材育成・新技術開発		
その他	製造業、IT(情報)、金融など多様な分野		

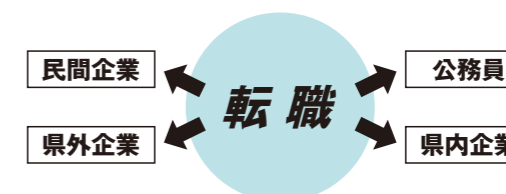
※1 建設コンサルタント 「社会基盤」と呼ばれるインフラ(道路・橋・ダム・港湾・上下水道・鉄道・空港その他)の整備において、主に官公庁などの公的機関から発注を受け、計画・調査・設計や管理運営に関わる、技術的なコンサルティングを行う企業

※2 デベロッパー 大規模な宅地造成やリゾート開発、再開発事業、オフィスビルの建設やマンション分譲などを行う土地や街の開発を行う企業・団体

※3 空間プロデュース・ディスプレイ 商業施設や博覧会等のイベント空間、商業空間、博物館等の展示空間等の企画・デザインや施工などを行う企業

・3つの仕事の分野ごとの記載は、分野に属する団体、企業に必ずしも該当するわけではありません。

自分の活躍したい場所で、
自分に合った**転職**もできる。





佐藤 信輔
建設業 技術者 入社3年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

父が建設業で働いており、子供のころから父の働く姿を見ていたので自分もやってみようと思っていました。工事現場は道路や建物など様々で、工事が進むにつれて完成していく過程が面白かったんだと思います。そんな子供のころからの想いを実現するため、大学で土木について学んだ後、現在の建設会社に就職しました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業の仕事は社会基盤整備や建物の構築など多岐にわたるため、現場に配属されるたびに新しい発見があります。自分が培ってきた知識とアイデアを現場へ反映させ、上司や協力業者の方々の経験を組み合わせ、工事を完成させた時にはとても大きな感動があり、魅力を感じるポイントだと思います。



小林 杏夢
建設業 技術者 入社4年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

峡南高校の土木システム科に通っていたのですが、授業中に先生方が熱心に建設業の魅力伝えてくださり、実際現場を見学した際に、どんどん興味が湧いてきました。私は何か一つの事を繰り返し作業することが得意ではないのですが、現場は日々状況が変化し、基本屋外での作業なので天候や、季節を感じながら様々な構造物に携わりたいと思いこの仕事を選びました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業の魅力は、現場に携わる全てのスタッフが「工事完成」という目標を掲げている。完成に向けて発注者との協議、現場での測量作業や写真管理、時には地域住民への調整など様々な業務をこなしています。今は橋台工事に携わっていますが、いずれこの橋台に橋が架かり、車や歩行者が通ると思うと嬉しく思います。暑い日や寒い日も大変ではありますが、自分が携わったものが形に残るといふ達成感にやりがいを感ずります。



戸澤 和哉
建設業 技術者 入社7年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

大学は法学部だったので、当時は今の自分を想像することはできなかったと思います。現在勤務している会社も営業職で採用されました。建設業の知識を深めるため、入社後間もなく工事に従事となり、ワイン醸造施設のプロジェクトに参加しました。転機はここで訪れました。多くの観光客が集まる施設を自分の手でつくり上げる醍醐味に心踊らされたのです。これを機に現場監督の道を歩み始めることになりました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建物が完成し、施主様から「素晴らしい建物を造ってくれてありがとう」と感謝の言葉をいただいた時です。今まで味わったことがない大きな感動、達成感で胸がはちきれそうになります。また、建設業は、道路や河川などの社会資本整備、地震や異常気象に対する防災対策、実際に発生した災害の復旧活動等、社会生活ではなくてはならない役割を担っています。



遠山 祐貴
建設コンサルタント業 技術者 入社8年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

大学の進路を決める際に、住宅等の建物ではなく、より規模の大きい構造物や人の暮らしを守る施設に関わることを学べる土木工学を知り、進学しました。また、就職先を決める際には、大学で学んだ専門的な知識を生かしてふるさと山梨に貢献したいと思い、設計の仕事ができる建設コンサルタント会社に就職を決めました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

土木設計の仕事は現場毎に様々な条件があります。その中で最適な設計を行うためには、多くの知識やそれらを駆使することが求められます。それだけに、自分の提案した方法が採用され、抱えていた課題を解決できた時にはとてもやりがいを感ずります。そして、自分で設計した構造物が建設され、実際に利用されているところを見た時の達成感や充実感はとても大きなものがあります。そうした経験を積み重ねて成長していけるところが建設コンサルタントの魅力だと思います。



廣津 巨哉
測量設計業 技術者 入社4年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

高校生の時に、当時母が勤めていた測量会社へ職場体験をさせていただいたことがきっかけです。職場体験では主に現場の補助をさせていただきました。屋外での測量作業の後、事務所へ戻ってまとめを行うというスタイルで、屋外と屋内の両方で活躍の場があることに魅力を感じました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

測量図の作成は道路や橋、河川の改修などの土木工事、家やビル、工場などの建築工事の際、必ず最初に行われる仕事です。私たちが現場の状況を正確に図面やデータに起こすことで、利用者の満足につながる社会的に大変意義ある仕事だと思います。やりがいは、完成した構造物の原点は、自分が測量した1点から始まったことを自慢できることです。



小澤 優花
造園建設業 技術者 入社4年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

私がこの仕事を選んだきっかけは、造園業に携わりたいと思ったことです。私は、幼少期から自然に触れることが好きで、植物、特に樹木に興味がありました。それに加えて、自分で作業して「もの」を作ることにやりがいを感ずっていました。以上のことから、樹木を扱って居心地の良い空間を身近に創造できる造園業に、就職先として心惹かれました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業の魅力は、沢山の人が一人ひとりのもつ力を上手に合わせることで、何もないところに新たな一つの空間を作り出すことだと思います。特に造園工事は仕上がりが直接目に見えるので、材料や機械、職人さんの手配をして現場がスムーズに回るよう工程を調整し、苦労しながらも皆で協力して工事を完成させた時には、大きな達成感を感じます。



内田 祐菜
山梨県国土整備部 採用9年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

「カタチに残る仕事」。この言葉を高校時代に参加したオープンキャンパスで聞いたとき、この仕事に関わりたく強く思いました。また、道路や河川など、多くの方に利用される施設の整備に携われることに魅力を感じています。県職員は、施設の計画から設計、施工、維持管理まで幅広く携わることができるため、この仕事を選びました。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

道路が整備されると、渋滞の解消や歩行者の安全が確保され、河川が整備されると、土砂災害や浸水被害の対策ができる。山梨県がより住みやすい県となるお手伝いができることに魅力を感じています。建設業は、様々な形で地域の役に立つことができるので、楽しいことばかりではないですが、とてもやりがいのある仕事です。



相原 拓真
山梨県国土整備部 採用4年目

Q.この仕事を選んだきっかけは？

学生時代に気象予報士の資格を取り、このスキルを生かして地元である山梨県の防災に貢献できる仕事に就きたいと感じたことがきっかけです。また、道路や河川をはじめ、砂防、都市計画等、県民の生活や経済活動を支える仕事であることに惹かれました。ワークライフバランスが確保できることも、山梨県庁を就職先に選んだ要因の一つです。

Q.建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業の魅力として、自分の仕事の成果が構造物として残り、経済活動や防災等の観点から、県民生活に貢献していると実感できることが挙げられます。現在の所属である高速道路推進課では、中部横断自動車道(南部IC～下部温泉早川IC間)、須走道路・御殿場バイパスの開通を経験し、山梨県を支える大きな事業に関われたことにやりがいを感ずりました。

「甲府工業」専攻科建築科の紹介

本学は山梨県内で唯一、夜間部(授業時間18:05～21:20)で建築を学ぶことができる教育機関です。カリキュラムは建築に関わる基礎知識を体系的に学ぶための講義と、専門知識を総合して体得するため実習科目をバランスよく組み込んだ内容となっており、様々なキャリアを持った生徒(平均年齢32歳)が切磋琢磨しながら、授業に取り組んでいます。(問い合わせ先:甲府工業高等学校定時制教務係055-252-4992)

二級建築士について

二級建築士の指定科目である主要4科目(計画・法規・構造・施工)を中心とする講義及び実習を行い、2年間で40単位の専門科目を修得します。本学修了と同時に二級建築士の受験資格が取得でき、試験合格直後から建築士の免許登録が可能です。

動画でCheck!!

1 若い力(キミ)を待っている

2 地域を支え、明日をつくる仕事 2020

3 建設女子たちに聞いてみた!

建設女子たちに聞いてみた! 全集中! 山梨県土木施工管理士

建設の仕事Q&A

建設の仕事に関する疑問にお答えします！

Q

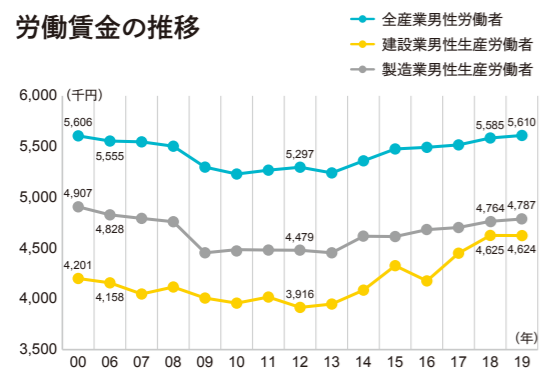
新3Kとは何か？

A

新3Kとは、「給与が良い、休暇が取れる、希望が持てる」のこと。従来、建設産業に対する3K「給料が安い、危険、汚い」のイメージがあったため、平成27年に、国土交通大臣と日本経団連が「給料・休日・希望」といった新3Kを提唱し、建設技能者の処遇改善に向けた提案を行いました。

現在、国土交通省や都道府県が中心となり、賃金水準の確保や、安定的な仕事量の確保、週休2日を取り入れた工事への取り組みなどを行い、賃金水準が上昇するなど状況が変化してきています。

労働賃金の推移



出典 建設業ハンドブック2020 資料出所:厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
 1 年間賃金総支給額=決まって支給する現金給与額×12+年間賞与その他特別給与額
 2 生産労働者とは、主として物の生産が行われている現場等(建設現場等)における作業に従事する労働者である。
 3 調査対象は、10人以上の常用労働者を雇用する事業所

Q

ICTの活用は？

A

測量においては、ドローン等により作業前の現場の状況を計測し、3D(立体)データを得て3D設計を行い、比較することで作業量を把握できます。

施工においては、衛星測位システム(GNSS)やセンサーを搭載した建設機械を用い、機械の動作を制御し、設計との誤差を限りなくゼロに近づけます。また、建設機械の自動化・無人化に向けた取り組みも積極的に推進されています。

検査においては、完成した構築物をドローン等により計測し、3D設計と実測が比較でき、PCで簡単に検査業務の処理ができます。

建設現場におけるICTの活用は、労働力削減による生産性の向上や、より安全な施工が可能となり安全性の向上につながっています。



Q

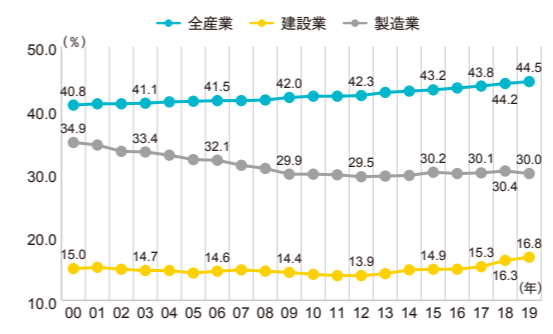
女性活躍の推進は？

A

労働力調査によると、建設業に従事する女性の割合は、15%以下で推移する状況でありましたが、2018年以降16%台に上昇し増加傾向となっております。最近では、休暇等の制度面、ICT活用等の技術面から女性も活躍しやすく、仕事を継続し易い職場環境づくりを目指す企業も多くなってきています。

今や、建設業界で働く女性を表す土木女子、建設女子といった言葉が定着するなど、女性は建設業会社にはなくてはならない重要な戦力として注目されています。

就業者中に占める女性(事務職を含む)の比率



出典 建設業ハンドブック2020 資料出所:総務省「労働力調査」
 ※けんせつ小町甲斐
 平成29年3月に発足した山梨県内の建設業界で働く女性技術者[建設業者・国・県]で構成された組織、PRイベントや合同現場研修会など、多彩な活動に取り組んでいます。なお、「けんせつ小町」とは、建設業で働くすべての女性の愛称です。

Q

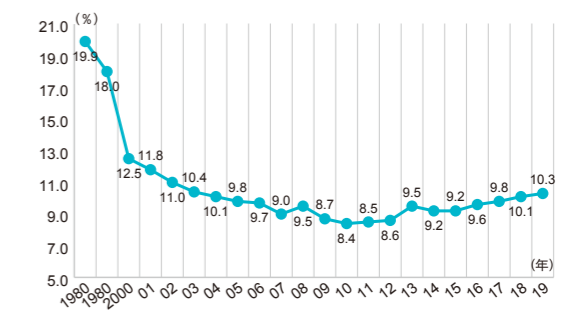
建設業の未来は？

A

国が推進している「災害に強くにづくり」のため、建物の耐震化や防災・減災施設の整備、老朽化した社会基盤の維持補修などが計画的に進められ、建設業には将来の安定的な仕事が見込まれております。インフラ整備、プランニング、自然との調和を通して、人々が安全安心で便利な住みやすい社会を形にして、それを維持管理しつづけていくのが建設業の仕事です。その役割はなくなることはなく、今後、防災・減災・国土強靱化を背景にますます重要になっていきます。

また、ICT化が進み、PC・タブレットを用いた業務が増えてきており、旧来のイメージとは変わった内容となってきております。

建設投資比率の推移 建設投資/国内総支出



出典:建設業ハンドブック2020 資料出所:内閣府「国民経済計算」国土交通省「建設投資見通し」など
 ※国内総支出に占める建設投資の割合は長期にわたり下落傾向であったが、2010年を底に近年は10%前後で推移している。

私たちの身近にある「インフラ」が持っている隠れた”価値や魅力”を知っていただき、インフラへの興味や理解を深めていただくため、山梨県内にある登録有形文化財や土木学会推薦土木遺産に指定されたインフラ関連施設などの基本情報を一か所に集め発信しているサイトです。地域別、種類別(ダム・橋・道路・トンネル・砂防・治水発電施設など)に掲載、動画もあります。

YAMANASHI INFRASTRUCTURE GUIDE
 富士の国やまなし
 インフラガイド

<https://www.yamanashi-infra.jp>